

ニ ュ ー ズ レ タ ー 雪 氷 北 信 越

N o . 2 3 平成4年1月10日

発行：日本雪氷学会北信越支部

〒940-21新潟県長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学機械系梅村研究室

Tel0258-46-6000内線7111（太田千恵子）

目次

理事・幹事合同会議報告／講演会・学習会報告／講演会・学習会・
講習会案内／その他

理事幹事会

平成3年度第3回理事・幹事合同会議報告

平成3年12月20日（土）14時30分より、長岡市『けさじろ荘』において本年度第3回理事・幹事合同会議が開催された。前回議事録の確認の後、平成3年度の支部事業（講演会、学習会等）の進捗状況について各担当者から報告があった。特に長野県の活動については、長野県が入会したことや本ニューズレターでも報告があるように12月に長野市で雪とスキー場に関する講演会が開かれ大盛況であったことが報告された。そして例年新潟地区で行っている積雪断面観測講習会を今年は長野県のスキー場で行うことが承認された。次に国際雪崩シンポジウムの実行計画案について梅村支部長から説明があった。また平成4年度支部総会・研究発表会が5月30日（土）に長岡で開催することとなった。支部賞の設置について中村理事から中間報告があった。早川理事から雪崩の力学研究技術部会の活動報告があった。最後に学会本部の動向についての報告があった。

報 告

石川地区第3回学習会の報告

平成3年12月6日（金）15：00～17：00。金沢大学工学部において学習会が開かれたが、石川地区は会員数が少ないことなどあって参加者は5名と少なかった。しかし内容は、金沢大学工学部・丁子哲治先生による北陸地方の降雪に含まれる無機科学成分の由来について、とくに、酸性雨・酸性雪のことなどについて大変興味深く話され、活発なディスカッションもあって有意義な学習会となった。

（高瀬記）

長野地区講演会の報告

「雪とスキー場に関する講演——長野冬期オリンピックに向けて——」
と題して、長野地区講演会が下記の通り開催された。

日時：1991年12月7日（土）

会場：信州大学教育学部第一会議室

内容：開会の辞

日本雪氷学会北信越支部長・長岡技術科学大学教授 梅村晃由

「よりよいスキー場を作る雪の話」

富山大学理学部教授 対馬勝年

「スキー場の雪崩について」

新潟大学積雪地域災害センター助教授 和泉 薫

「長野における災害雪崩について」

科学技術庁防災科学技術研究所長岡雪氷防災研究所研究室長
山田 譲

参加者 117名

1998冬期オリンピックの開催が決定した長野県における雪氷学会会員増強のキャンペーンとして企画されたこの講演会は、学習会等も含めて県内初の催しとあって期待と不安が相半ばする状況であったが、ふたを開けてみると会場から溢れるほどの盛会であった。マスコミも取材にかけつけ、講演会の内容は、翌朝地元では数紙にかなり詳しく報道された。会場受付でさっそく2名の入会申込があったほか、入会についての問い合わせが相次ぎ、キャンペーンとしても大成功であった。参加者は117名、このうち半数近くがスキー場関係者で、県内外のスキー場に送られたポスターが効を奏したことや、ほとんどのスキー場が降雪待ちのタイミングだったことも幸いしたようだが、潜在的な関心もかなりあると受け止める必要もあろう。将来はスキー場を会場とした学習会へとつなげていけると思われる。

富山地区学習会の報告

「屋根雪融雪システムについて」

昨年9月26日（木）18時～20時に行われた。講師は、富山県屋根融雪協会の橋本忠三氏で、施工に携わる立場からの実践的な話であった。各種の屋根雪の特徴と問題点やその実際の実施例と費用、さらに各県の行政の措置の差など、詳しい現状を聞くことができた。また、参加者中には、お寺の屋根の融雪に使いたいという希望を持った方もおられ、講演後も熱心な質疑が行われた。参加者は18名、場所は富山大学理学部2号館2階中会議室。

新潟地区学習会の報告

11月16日の学習会は、「中国、チベット西南部雪氷紀行」と題して長岡自治会館で開催された。当日は、今年の8月、中国で開かれたIGS国際シンポジウム及びそれに続くエクスカーションに参加された田村盛彰会員（長岡工高）に旅程の一端を多数のスライドで紹介していただいた。雄大なヒマラヤの山容やチベット高原の景観、神秘的なラマ教寺院の内部、等々なかなか見ることの出来ない貴重な写真とともに楽しい旅行談をお聞きすることができた。なお、参加者には有益なアドバイスを含んだ旅行記がおみやげとして配布された。参加者は23名であった。

12月11日の学習会は「生物現象による積雪予測」と題して、北陸農業試験場において開催された。当日は、酒井無線（長岡市）の酒井與喜夫氏から、かまきりの産卵行動と最深積雪との関係を中心に29年間の経験に基づく興味深いお話があった。そのあと、大沼匡之氏からハチの帰巢行動などに関する観察結果の紹介と酒井氏の講演に対するコメントがあった。また、多くの参加者から特に予測の方法をめぐって突っ込んだ質疑がなされた。時間の制約もあって十分な結論には達しなかったが、積雪だけでなくその他の現象を含めて生物現象による予測は多くの可能性を秘めていることが感じられた。ただその可能性を引き出すには職人的、個人的な技能ではなくて、もっと科学的な方法による取り組みが必要であるというのが講師自身を含めて大方の人の見解であった。なお、当日は長野県からの3名の参加者を含めて54名の参加者があった。

（高見晋一理事 記）

講演会開催の御案内

アメリカの雪崩研究者 ブルース・トレンパー氏の来日を機に、当支部と防災科学技術研究所長岡雪氷防災実験研究所との共催による講演会を下記により開催します。皆様奮って御参加戴きますよう御案内いたします。

記

- 日 時： 1992年1月27日(月) 15時～17時
場 所： 長岡グランドホテル 悠久の間 (長岡市東坂之上1丁目2-1)
TEL. 0258-33-2111
講 演 者： Bruce Tremper氏 (逐次通訳付き)
アメリカ合衆国、林野庁森林局、ユタ雪崩予報センター、プログラム部長
講演題目： アメリカ(ユタ州)における雪崩予報について(仮題)
講演内容： 現在アメリカで行われている雪崩予報の実際についての紹介をしてもらう予定です。特に、斜面積雪の安定度について、観察、斜面積雪の直接調査、爆薬テストそして、統計的かつコンピューター利用による方法などを交えての講演を期待しています。

なお、講演会終了後、簡単な懇親会を予定していますので、奮って御参加下さい。お手数ですが、参加希望の方は 1月 24日までに下記へ連絡いただければ幸いです。

連絡先：長岡雪氷防災実験研究所

TEL. 0258-35-7522 山田、監物

学習会

富山地区学習会のお知らせ

日時 2月6日(木) 18:00 ~20:00

場所 富山大学理学部2号館 中会議室

話題 南極観測における新しい雪氷研究計画について

国立極地研究所教授 渡辺 興亜

渡辺先生が6,7日富大地球科学科に雪氷学特論の集中講義においてになれる機会を利用して学習会を計画致しました。講義の問い合わせ→庄子

連絡先 科学文化センター 石坂(☎0764-91-2123) 富大理 対馬(☎41-1271)

講習会

平成3年度 長野・新潟地区講習会のご案内

[1] 講習題目: スキー場防災の積雪調査実習

[2] 日時: 1992年3月3日(火) 10:00~16:00

[3] 場所: 長野県北部のスキー場

[4] 講師: 遠藤八十一(農林省森林総研) 山田 穰(長岡雪氷防災研)、
佐藤和秀(長岡高専)、五十嵐高志(長岡雪氷防災研)

[5] 実習内容: 午前: 講演、午後: 実習、積雪の層構造と雪質の観察、雪温、密度、
積雪相当水量などの測定、雪の含水率の測定など。

[6] 申し込み方法: 電話または、ハガキ、封書で氏名、所属、会員、非会員、学生
の別、連絡先住所および電話番号を、2月7日(金)までに下記へご連絡下さい。定員: 20名(先着順)

[7] 申し込み先: ☎940 長岡市幸町2-7-70、長岡工業高校 田村盛彰
TEL 0258(35)1976 FAX 0258(39)2054

問い合わせ先: ☎380 長野市箱清水2383 日本気象協会長野センター内
登内 道彦 Tel 0263(35)1533 FAX 0262(34)1870

[8] 受講経費: テキスト、実験材料等の実費として次の会費をご負担下さい。
会員=3000円 非会員=1万円 学生=2000円
(講習当日に領収いたします)

[9] 当日に持参するもの: 筆記用具(鉛筆)、ノート、定規、電卓、長靴、防寒具

[10] 日程・会場・宿泊などの詳細は参加者に直接連絡いたします。

※1 スキー実技講習会と結合させ、夜はスライド映写会などを催します。

※2 講習会終了後、後日、修了証を交付いたします。

主催 日本雪氷学会北信越支部、

(幹事 田村)

92 スキー実技講習会

- [1] 講習題目：スキー実技講習
- [2] 日時：1992年3月4（水） 9:00～12:00
- [3] 場所：長野県北部のスキー場
- [4] 講師：塩野谷 明（長岡技大）
- [5] 講習内容：アルペンスキー技術の実際
- [6] 申し込み方法：電話、ハガキまたは封書で、氏名、所属、会員、非会員、学生の別、連絡先住所および電話番号を記載し、2月7日（金）までに下記へご連絡下さい。定員：約10名（先着順）
- [7] 申し込み先：〒940長岡市幸町2-7-70、長岡工業高校 田村盛彰
TEL 0258（35）1976 FAX （39）2054
- [8] 受講経費：実費として次の会費をご負担下さい。
会員＝2000円、非会員＝5000円（講習当日に領収します）
※ リフト料金は別になります。
- [9] 宿泊（3月3日夜） 宿泊所未定（希望者のみ）

その他

『ニュースレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニュースレターを発行いたします。原稿を、下記の書式（できるだけワープロ原稿）で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

※書式 幅16.5cm、1行：33文字、行数：制限は設けませんが手短に
字間：2.5mm、行間：5.4mm

ニュースレターに関するお問い合わせは、

長岡技術科学大学機械系 東 信彦 電話0258-46-6000 内線7120 まで

長野・新潟地区講習会申込書
—スキー場防災の積雪調査実習—

氏名: (○印 会員 非会員 学生)
所属:
連絡先(住所):
電話番号: ファクス:
宿泊希望(○印): 1. する 2. しない

スキー実技講習会申込書

氏名: (○印 会員 非会員 学生)
所属:
連絡先(住所):
電話番号: ファクス:
宿泊希望(○印): 1. する 2. しない

申込締切: 2月7日(金)

送付先 : 〒940 長岡市幸町2-7-70 長岡工業高校 田村盛彰
電話 0258(35)1976 FAX 0258(39)2054